

企業の交通事故「0」をめざして

『安全運転研修プログラム』のご紹介とご提案



株式会社 宮交自動車学校

1. 『安全運転研修』の必要性



『安全運転研修』の必要性

企業にとって、ひとたび交通事故が発生すると損失は経済的なものだけではありません。

これまで築き上げてきたお客さま(お取引先さま)からの信頼だけでなく、企業そのもののブランドイメージの低下、その後の企業活動にも影響を及ぼす可能性があります。

失った信頼・イメージを回復するためには、多大な努力と時間が必要になります。

こうした現状から、交通事故が企業に及ぼす影響について、今まで以上に真剣に受け止め、交通事故をなくすために、安全運転研修を行う企業が増えています。



交通事故が企業に与える3大損失

人的損失

心身のダメージ
士気の低下

経済的損失

被害者への賠償金
車両等の修理費

社会的損失

お客様からの信頼
企業イメージの失墜



2. 交通事故のリスクを回避するための『安全運転研修』

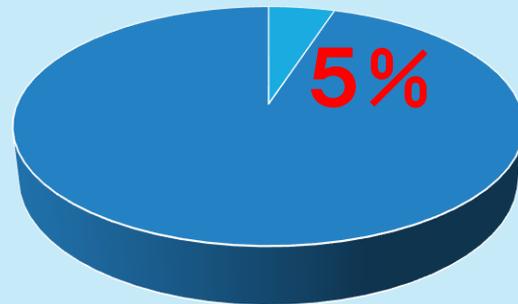


リスク回避のための『安全運転研修』



**安全運転意識の欠如が
事故原因の95%**

交通事故の大半は、安全運転意識の欠如により発生していると言っても過言ではありません。
無理な運転、漫然運転、確認不足、判断不良などによる不確実・不注意行動をなくせば、交通事故を減らすことができるでしょう。



**運転技量の不足は
事故原因の5%**

確かに運転技量の不足により交通事故が発生することもあります、その件数はごくわずかです。わずかであっても事故がおきてはいけません。
自己流の運転に陥りやすいベテランの方、運転経験の少ない方、長期間運転から離れていた方など、運転技量の再確認をしてから、業務運転に就くことが大切です。

**企業のドライバーとして安全運転の意識改革や
運転技量の向上を目指した研修が必要になります。**

特に『安全運転研修』を受講することが望ましい対象者

事故多発者

「2割5割の法則」と言われるように、長期的にみると2割の従業員が5割の事故を起こす傾向があります。逆を言えば、事故を多発させる2割の従業員が事故を起こさなければ事故件数は半分にまで減らすことが可能です。

多くの事故多発者は、運転の上手い下手ではなく、事故を起こしやすい運転特性、性格特性を持っている傾向があります。そのため、自己特性に「気づいて」頂き、「いつ」「どのようなタイミング」で事故を起こしやすいのか理解していただくことが重要です。

新入社員

若年層においては、運転経験の浅さからくるスキル不足や危険予知能力不足、甘え等から事故を起こす傾向があります。

組織の一員として運転を行うことはどういうことなのかを理解していただくとともに、本人の運転適性への「気づき」や危険感受性を育成することで、将来の事故を防ぎます。

一般社員

一度事故が減ったとしても、企業や従業員の危険感受性が日々低下してしまうことは避けられません。そこで、定期的に安全意識を高め、危険感受性を呼び起こす研修を受講することで慣れからの事故を防ぎます。

3. 宮交自動車学校 について



『安全運転研修』のコンセプト

自動車学校の安全運転教育で培った知識と経験を様々な用途に合わせてご提供させていただきます。

初心運転者教育

高齢者講習

宮交自動車学校

地域の安全運転
教育センター

企業向けの安全教育

宮交自動車学校の強み

宮城交通グループ

宮城交通グループとしてバス運転士の適性検査と結果に対する講義を実施しております。

高齢運転者への対応

年間1,500名を超える高齢者講習を実施しております。

初心運転者に対する教育

新規免許取得者を毎年1,000名程度育成しているほか、近隣の高等学校や大学の在大学生を対象とした運転講習も実施しております。

4. 宮交自動車学校『安全運転研修』の特徴



企業にとって交通事故「0」は大きな戦力

企業においての交通事故は、事故を起こした加害者（従業員）だけでなく、企業も加害者となり、その事故の責任を負わなければなりません。

加害者になってしまった場合、さまざまな面で損失が発生し、その後の企業活動にも大きな影響を与えるかもしれません。

このような事態を未然に防ぎ、安全に企業活動を続けていけるように、お客様のニーズに合わせた研修を行っております。



座学の特徴

座学では、適性検査の結果からご自身の運転傾向を知っていただいたり、事故の事例等から事故の原因を理解し、なぜ事故は起きるのかを気付いていただいた上で、社会人、企業人としてのあり方を学んでいただきます。

実技の特徴

実際に車を運転していただき、助手席の指導員が個人のクセや習慣、危険に繋がる可能性のある兆候を採点します。結果に基づいて、今まで以上に安全運転を実践していけるように指導助言を行います。

少人数でも実施

人数が少なくても、お気軽にご相談ください。おひとり様でも研修内容を吟味して対応いたします。

個別カリキュラムも作成

お客様からのご要望により柔軟に研修内容(カリキュラム)を作成いたします。一定の基準がありますので、ご相談ください。

5. 宮交自動車学校『安全運転研修』の種類(例)



安全運転適性検査

OD式安全性テスト(企業版)を使用し、新入社員や事故を起こしたドライバー等の

「運動機能」「健康度・成熟度」「性格特性」「運転マナー」を測定し、その結果を踏まえた指導を実施いたします。

安全運転管理者、上司の方にとっては、診断結果から受検者個々の特徴や性格などを把握でき、普段の指導のコツなどを提示することによって、より効果的な安全管理/教育にご活用いただけます。

運転チェック(所内)

所内コースを使用し、車両感覚の再確認やバックでの駐車方法、交通法規の再確認等を実施いたします。

※お客様のご要望に合わせた内容で実施することも可能です。

運転チェック(路上)

一般道路を実走し、運転者個々人のクセや習慣、危険に繋がる兆し等をチェックし安全運転に対する意識の向上を図ります。

※ご希望により高速道路での運転も実施することができます。

危険予測トレーニング

2～3人のグループでの研修になります。

お互いの運転を観察し、その後ディスカッション方式でお互いのクセや習慣、危険に繋がる可能性のある運転行動等を話し合うことでグループ全体での安全意識の向上を図ります。

※危険予測トレーニングは2名以上で2時限からの研修となります。

運転シミュレーター

様々な危険場面での運転対応を運転シミュレーターを使用し分析、危険予測能力の向上を目指します。

スキッド体験

スキッドマットを使って冬道の滑る危険性を体験していただき、より安全なペダル操作、ハンドル操作を身に付けていただくほか、座学による冬道の事故パターン等の知識も理解していただきます。

※10名様以上からのお申込みとなります。

(実施可能日が定められています。)

ご覧いただきありがとうございます。



株式会社 宮交自動車学校

〒982-0847 宮城県仙台市太白区長嶺4-1

☎ 022-248-3850

Fax022-247-3510

